

在宅医療の本質と理想の在宅医リーダー

医療法人社団萌気会 理事長
在宅医療推進会議 会長代行
理事長 黒岩卓夫

平成24年10月13・14日



在宅患者20年間の状況

(平成4年7月～平成24年6月)

		男	女	合計
死亡	在宅死亡	104	180	284
	病院・その他	54	62	116
	小計①	158	242	400
転出	在宅から通院・転院 その他特養や施設	33	97	130
	小計②	33	97	130
現在	平成23年7月在宅患者	37	74	111
	入院中	4	1	5
	小計③	41	75	116
	合計①②③	229	406	635

在宅医療の姿と心

- 在宅医療の姿は歴史的に進化してきた。
- 現代的在宅医療の原型は、
「在宅医療推進会議」会長、佐藤智先生の
ライフケアシステムにある。
- わが国の歴史にみられる在宅ケアの姿
赤ひげ診療譚(山本周五郎)
良寛禅師の看取り
越後瞽女(えちごごぜ)
- そしてこれからの在宅医療の姿は

ライフケアシステム(1981年1月発足)

2つの理念

病気は家庭(家庭的環境)で治すもの
自分たちの健康は自分たちで守る

4つの活動

24時間ケア、訪問看護、定期検診、健康教育

病院との連携「委託病床協定」

市内病院に常時1床を確保

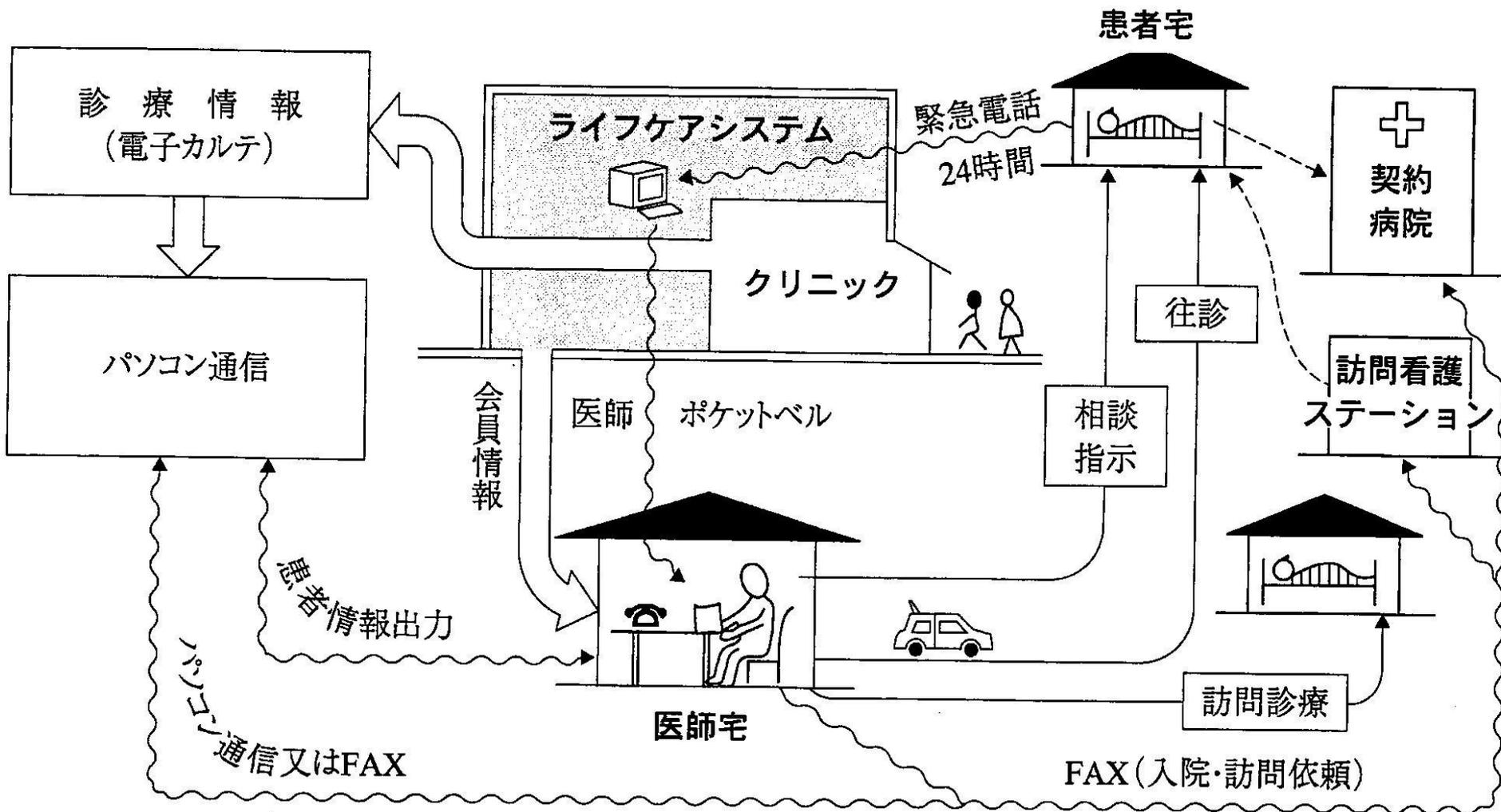
患者・市民の発想、要望から生れたメンバーシップの
組織であり、医師と患者の信頼関係が動力である。

(「在宅ケアの真髓を求めて」佐藤智著 日本評論社・2000年6月)

ライフケアシステム図

在宅医療の情報システムの現状

—ライフケアシステムとクリニック—



「在宅ケアの真髄を求めて」日本評論社(佐藤智)より

在宅療養者・介護施設等の利用者への ケアの評価について

高齢者(認知症含む)ケアの評価

居心地の良さ — 安心 — 家族性

居場所の良さ — 仲間 — 地域性

今日1日の満足 — 希望 — 精神性

↑
医療

在宅療養での医療と介護の関係

医療(制度)と介護(制度)の関係

介護は生活を支える

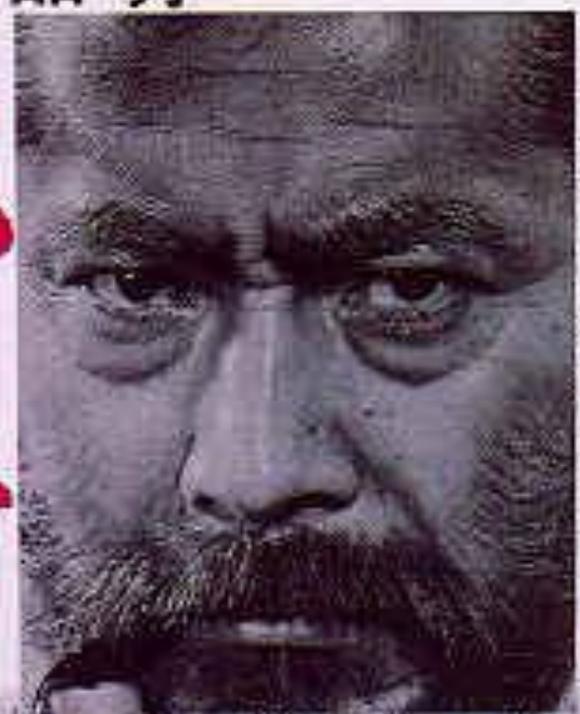
医療は健康を支える

この役割分担を明確にして
両者が連携する必要がある

第三

黒沢明
監督作品

赤ひげ



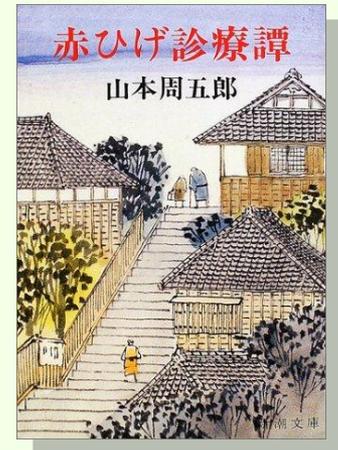
「椿三十郎」「天国と地獄」に続き
巨匠黒沢明が描く偉大な人間像
ひしひしと胸に迫る感動の巨篇



主演 山崎 豊雄 伴 三
村崎 野岸田 山崎
木 村 幸子 藤 敏
真琴 き美子 三郎

山本周五郎「赤ひげ診療譚」(新潮文庫)から

1. 小石川療養所、巷への往療から社会派医師の可能性を見る。
2. 医療者、慈善者(福祉)、健康教育者、そして若い医師の育成者。
3. 若き医師、保本登の人間としての再生。
4. 在宅医療の現場が、医師が人間として成長する場でありたい。



『赤ひげ診療譚』
山本周五郎
新潮文庫

良寛禅師の看取りから学ぶもの



良寛を看取った人たち

遍澄 僧・弟子

貞心 尼僧・恋人

由之 弟・俳人

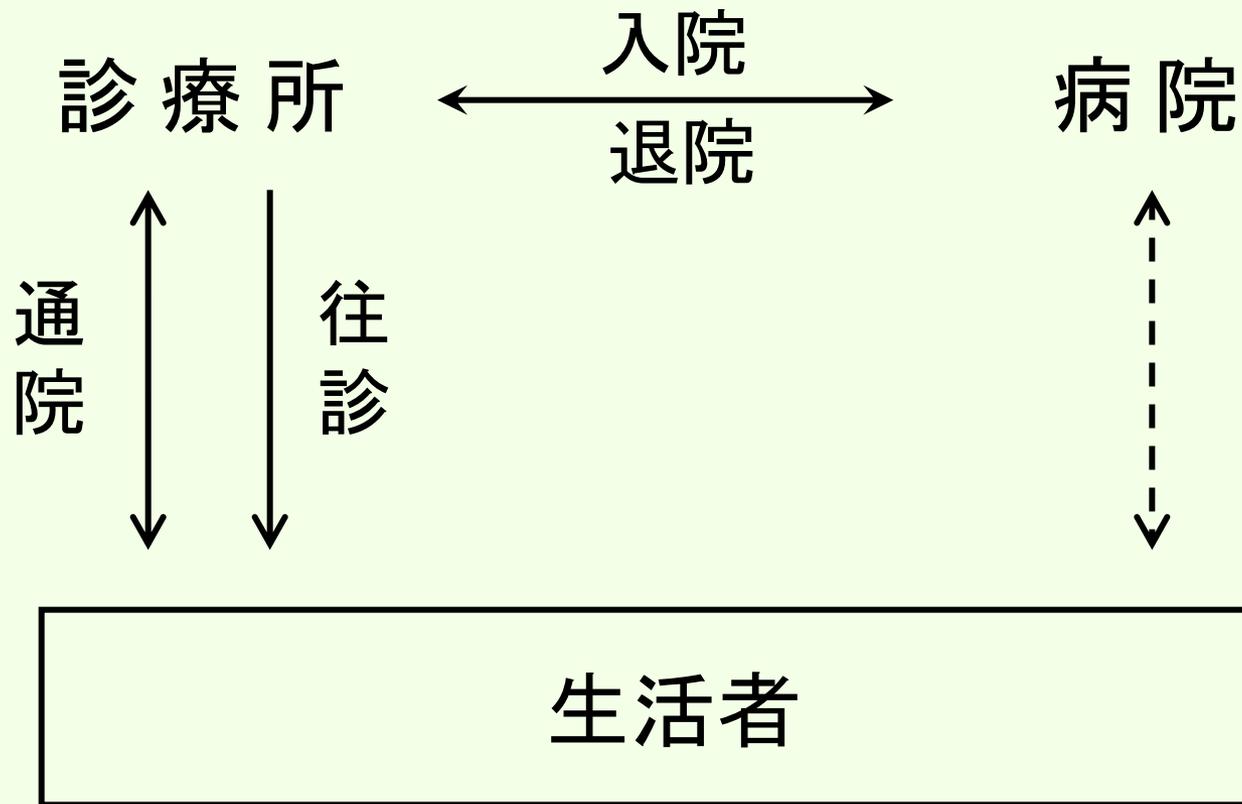
第十代木村元右衛門と妻

住まいと介護の提供者

医師(医療関係者)の在宅医療への出会い

- 1、記憶としての在宅医療
- 2、体験としての在宅医療
- 3、仕事としての在宅医療
- 4、理念もしくはは心情としての在宅医療
- 5、在宅医療連携のリーダーとしての在宅医療

往診・訪問診療の発生



在宅医療連携を担う「連携リーダー」像

1. 連携リーダーは地域包括ケアと医療連携拠点の視線が必要
2. 地域包括ケアからは地域を見る目
医療連携拠点からは人間を見る目
3. 制度は外からの枠であり、これに信頼性や効率性を与えてはじめて地域に生きたシステムになることを銘記する。
4. 連携リーダーは医師でなくてもよいが、それぞれの職能を生かした連携リーダーにならねばならない。
5. 医師は医療の中心である以上、連携リーダーの指導性や役割の大きいことは言うまでもない。



『瞽女 斎藤真一画集』
毎日新聞社
「二本木の雪」



雪割草!

みんなのケアで咲かせよう

包括ケアのある むら・まちをめざして